

緊急
特集

インターネットツールの最新情報

WWWブラウザ

Hot Line 特別版



THIS MONTH'S TOP NEWS-1



CD-ROM収録先

AWin▶ Netscape▶ V6pr1

ネットスケープ6 Preview Release ついに登場!

2年の歳月をかけてようやくネットスケープ6のプレビュー版が登場した。その実力はどのようなものか? どういうソフトに仕上がっているのだろうか? ここでは4月6日に公開されたネットスケープ6 Preview Release 1についてのレポートをお届けしよう。
塩田紳二

オープンソース化から2年

ネットスケープが次期ブラウザをオープンソース方式で開発すると発表したのは、1998年の2月23日。それから2年以上の歳月が流れ、ようやくネットスケープの新しいブラウザが登場した。当初はネットスケープコミュニケーター4の後継であるVersion 5というのが開発目標であったが、開発が遅れたため、Version 5を飛ばし、ようやく登場したのは、ネットスケープ6と呼ばれるバージョンのプレリリース1というもの。

この2年の間にいろいろなことが起こった。ブラウザ競争に端を発する司法省によるマイクロソフトの独禁法違反での訴訟や、AOLによるネットスケープの買収などである。また、ネットスケープがバージョン4のまま、多少のマイナーチェンジを行っている間に、ライバルのインターネットエクスプローラ(IE)は、5.5にまでなった。

そして、IEのほうは、じわじわとネットスケープのシェアを奪っていった。特に致命的とも思えたのが、カスケディングス

スタイルシート(CSS)への対応である。ネットスケープ4.7では、CSSへの対応が中途半端で、ちょっと複雑なレイアウトになると、正しい表示が行えなかった。このことは、多くのユーザーがIEへと転向する要因の1つとなった。

この点については、ネットスケープも気が付いていたようで、次期ブラウザでは、新しいレイアウトエンジンである「Gecko」を採用し、これをベースにオープンソース方式で開発を行うと述べていた。

ネットスケープが採用したオープンソース化とは、主要なソースコードを公開し、それを使ってインターネット上でさまざまな人々が開発を行い、それをネットスケープの開発陣がまとめてブラウザを作るという手法である。

次期ブラウザ登場に2年という歳月がかかった理由は、オープンソース化のために時間がかかったというよりも、開発途中でXMLなどの新技術の登場への対応に手間取ったからだという。



入手先URL www.netscape.com/download/

インストールしてみよう

まずはインストールして動かしてみることが、ネットスケープ6がどんなものを知る早道である。ネットスケープ6は、本誌の付録CD-ROMにも収録されているが、インターネットからも入手は可能。この場合、setupプログラムを最初にダウンロードして実行すれば、あとは、必要なものを勝手にダウンロードしてインストールしてくれる。

どの方法でも、カスタムインストールを選び、インストールされるコンポーネントなどを確認したほうが良いだろう。

ファイルのコピー作業が開始されれば、そのまま止まらずに作業が進み、最後にネットスケープ6が起動して終了する。その間、何も操作する必要がなく、インストール後のシステムの再起動も不要だ。



インストールするコンポーネントを選択する。ディスク容量に余裕があるなら、標準状態のまま先にすすんでもよい。ただし、Sun Java2は、かなり大きく、とりあえずブラウザを試すだけなら、入れなくてもよい。



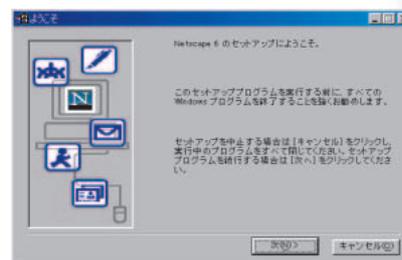
付録CDをセットし、「Win」「Netscape」「V6pr1」の順にフォルダを開き、「Netscape\setup」を起動する。



次に出るのは、ライセンス契約画面。ここでは、「同意する」ボタンを押さないと次にすすめない。



スタートメニューに登録されるフォルダ名を選ぶ。ここはデフォルトのままでもよい。



最初に、起動中の他のプログラムを終了させておくように指示がでる。



セットアップの種類を選ぶ。何がインストールされるかを確認するためにここではカスタムを選択する。また、インストール先ディレクトリを変更したいなら、参照ボタンを押す。



以上で、インストール時の設定は終了。インストールボタンを押すとインストールが始まる。なお、「現在の設定値」に何も表示されないことがあるが、気にしなくていい。

ついにベールを脱いだネットスケープ6の全貌は？

まだプレビュー版でもあり、いくつかの不具合が見受けられるものの、機能としては従来のコミュニケーター4.7で目立っていたいくつかの問題は解決され、もちろん新しい機能も付加されている。メニューやツールバー類が変わり、かなり違った印象を受けるが、最終的にユーザーでカスタマイズが可能なテーマ機能が装備されるというので、現時点での画面デザインはあくまでも標準状態のもの。テーマによっては、もっと使いやすくなるかもしれない。

CSSの表現は、かなりまともになった感じで、今後は、IEとの違いにあまり気をつかわないでもよくなるかもしれない。一太郎ARKなどのCSSに対応したエディターで作ったページが以前よりまともに表示され、このあたりは期待大だ。

Sidebarは便利そうだが、IEのExplorerバーに比べると今一歩という感じもある。たとえば、簡易表示でもいいので、ここで履歴表示も行えたほうがよかったのではないかな？

また、機能として尖ったところがなく、ごく当たり前の機能をちゃんと実装したシンプルなソフトという感じで、少々物足りない。たとえば、ブックマークにページのサムネールが表示されてしまうと、リンクの先読み機能が入っていると、何かビックリするような部分やIEを超えようとする気持ちを感じられる機能があれば、少しは乗り換えるユーザーも増えると思うのだが。

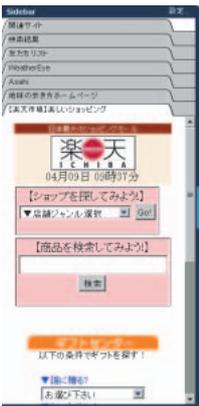
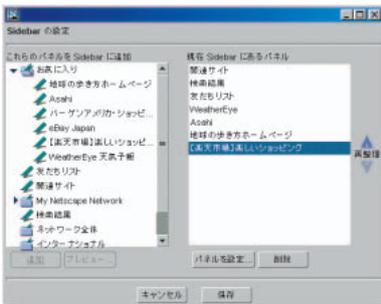
これがネットスケープの新機能だ

ネットスケープ6は、従来のコミュニケーションター4.7とはまったく違った画面構成となった。その中で目につくのは、ウィンドウ左側のSidebarだろう。ここには、IEのようにブックマークの表示や検索が可能で、さらにさまざまなコンポーネントを追加できる。

Sidebar

Sidebarはネットスケープ6の特徴的な機能の1つ。ここには、複数のパネルが登録可能で、各パネルは実際にはWEBページになっており、ネットスケープ6が表示可能なものならなんでもここに組み込むことができる。

標準でブックマークの表示や検索機能、関連サイト、友達リストなどが用意されている。マウスで幅の変更が可能のほか、非表示にすることも可能。



Sidebar右上の「設定...」ボタンで、表示させるSidebarを左側のエリアから選ぶ。

Sidebar内のパネルには、各サイト専用のものや、複数の検索サイトを使った検索用のものなどがある。

たとえば「楽天」のパネルでは、商品検索ができるほか、パネル内のリンクをクリックするとブラウザにページが表示される。

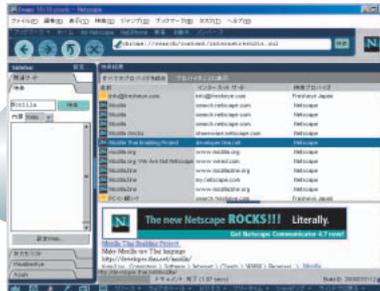
検索機能

Sidebar内の検索パネルでは、キーワードを入力すると、パネル内に検索結果が表示されるだけでなく、ブラウザ領域に検索結果が表示され、検索サイトごとの表示やまとめた表示が行える。ブラウザ側の上半分には検索結果、下半分には検索結果から選択したページが表示される。IEのようにSidebar



検索はSidebar内で対象検索サイトを選んで行う。

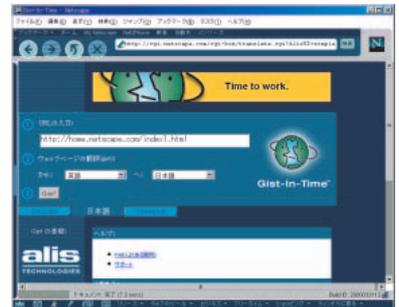
の検索結果から項目を選んでもいいし、ブラウザ側から選ぶこともできる。又、特定の検索サイトの検索結果だけを使うこともできる。



検索結果はSidebar内にリスト表示されるほか、ブラウザ領域にもリスト形式で表示される。こちらでは、特定の検索サイトのみを選んで表示させることも可能。

翻訳機能

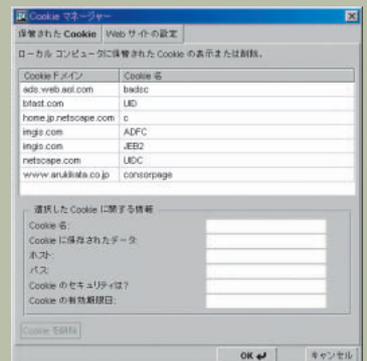
インターネット内の多くの情報が英語で記述されているため、翻訳ソフトを併用する人も多いが、ネットスケープ6は、インターネット上にある翻訳サーバーを使った翻訳機能をメニューから実行できる。英語から日本語への翻訳はもちろん、フランス語やドイツ語の翻訳にも対応している。



翻訳させたいページを表示させ、表示メニューの「翻訳」を選択すると、当該ページのURLが翻訳サーバーのページにセットされた状態になる。ここで、対象言語などを選択して「Gist!」ボタンを押せば、ページが翻訳される。

注目の機能はこれだ

おもしろい機能としては、Cookieマネージャーがある。これは、保管されているCookieのリストや内容などを解析して表示できるもの。サイト名や内容、有効期限などが解析されて表示されるため、削除などの整理がやりやすい。また、ここで、Cookieを受け付けたくないサイトなどを登録することもできる。



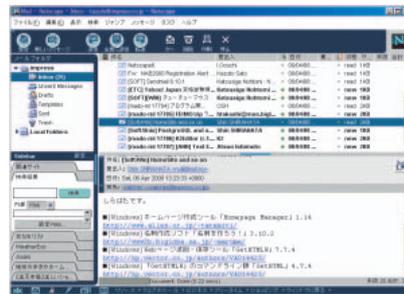
多彩なコンポーネント

ネットスケープ6には、従来同様、ブラウザ、メール、ニュース、HTMLエディターが組み込まれているほか、AOL インスタントメッセージやNet2Phoneなどのソフト、Java2を実行するための環境などが付属している。AOL インスタントメッセージは、ICQ同様、ユーザー同士でチャットを行うインスタントメッセージソフト。ICQと異なるのはこちらはAOLのサーバーを使うことだけで、基本的なシステムは同じ。Net2Phoneは、いわゆるインターネット電話のシステムで、登録すれば米国内にあるゲートウェイ経由で、一般の電話とも会話が可能。

AOL インスタントメッセージ



同じソフトを持つユーザー同士で簡単にメッセージを送ることができる。



メール

左側にフォルダリストとSidebarが付く。右側は、メッセージリストとメール本文表示部分になっている。

Net2Phone



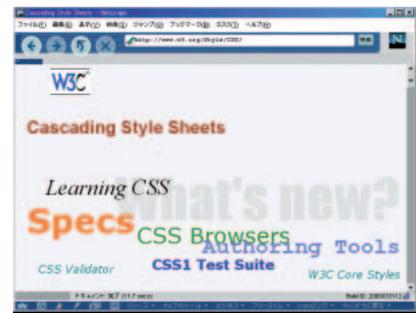
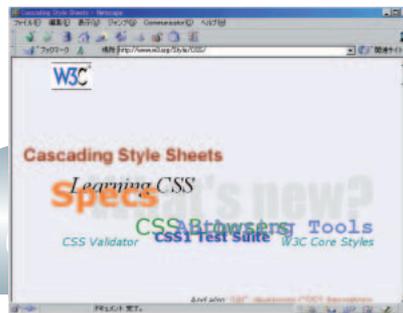
Net2Phoneに登録すれば、同社のゲートウェイを経由して、一般の電話へ通話が可能。

標準規格を完全サポート

従来ネットスケープのブラウザは、独自の機能拡張が目立ったが、今回ネットスケープ6では、W3C (World Wide Web consortium) などが策定した標準規格がかなりサポートされ、HTML 4.0やCSSといったページ表示に関する仕様に準拠したものになった。

また、データ交換などのためのXMLにも対応しており、ページ内にXMLを使ったユーザーインターフェイス「XUL」(XML-based User Interface Language) も利用できる。

また、スクリプト言語であるJava



WorldWideWeb コンソーシアムのウェブページをネットスケープ4.7(左)とネットスケープ6(右)で表示した。CSSへの対応が不完全な4.7のために専用のCSSファイルが用意されているが、文字が重なり合うなど、正確に表示できていない。

Scriptはバージョン1.5に対応し、DOM (Document Object Model) により、XMLやHTML文書へのアクセスが行えるようになっている。

ネットスケープの今後の展開は？

Preview版ではあるが、ようやく登場したネットスケープ6は、以前のようなシェアを獲得できるだろうか？ こと、パソコンというプラットフォームでは、これはかなり難しいことのように思える。この2年間の間に、多くのユーザーがIEに乗り換えてしまったからである。これが2年前であれば、機能などによる比較で、ユーザ

ーがネットスケープを選択する可能性はあっただろうが、この2年間のブランクを埋めるには、もはや機能や性能といった部分ではなく、何か別の要素が必要なのではないだろうか？

純粋にブラウザとして見ると、ネットスケープ6はかなり良い出来になっており、IEが進出していないプラットフォーム、た

えば、Linuxなどではかなり普及すると思われる。

また、レイアウトエンジンであるGeckoは、Operaなどの他のブラウザや、セットトップボックスなどで採用されており、こちらでは、かなり使われることになるだろう。



インターネットエクスプローラ 5 Macintosh Edition 登場!

ウィンドウズ版よりさらに進化したIE 5 me

インターネットエクスプローラ5 Macintosh Edition 正式版(以降 IE 5 me と記す)がリリースされた。マックらしいデザイン、ドラッグ&ドロップを多用した操作感に加え、便利な新機能が総じて好評だ。ウィンドウズ版にはまだない機能も多く、ウィンドウズユーザーにとっても必見のソフトだ。梅垣まさひろ

付録CD-ROM からインストール

IE5 meは、マイクロソフトのマックトピア **Jump** からダウンロードしてインストールできるが、本誌付録CD-ROMに収録されているので、そちらを利用するのが楽だ。IE4.5から移行の場合、まずIE4.5フォルダーをごみ箱に捨ててからIE5 meのフォルダーをハードディスクアイコンにドロップしてインストールする。なお、IE4.5の各種設定はそのまま引き継がれるが、プラグインはコピーされない。プラグインフォルダーだけはとっておいて、あとでIE5 meのプラグインフォルダーにコピーするといいたいだろう。

入手先URL **Jump** www.microsoft.com/japan/mac/

マックスタイルのIE5

ひとことで言って、「マックらしいソフトになった」というのがIE5 meの初見での感触だ。使ってみて、感触が確信になるまでに時間はかからなかった。あとで知ったことだが、マイクロソフトはIE5 meを「ゼロから作り直した」とのこと。マックらしい、いやiMacらしいウィンドウに溶け込む自然なボタンアイコン、オートコンプリートの半透明なプルダウン表示、iMac色にカスタマイズできるツールバーなど「マックスタイル」を意識したデザインは、多くのマックユーザーが納得する内容だ。

何となく、Mac OS Xで採用されるインターフェイス「AQUA」に似ている気もするが、Mac OS Xの標準ブラウザとして採用されることがすでに決まっており、そんな意気込みが感じられるデザインだ。



Macintosh Edition だけの 新機能

IE5 meではマック版にしかない新しい機能が数多く盛り込まれた。「Beyond Browsing」(ブラウザを超えた)のキャッチコピーはやや大げさだけれど、確かに斬新で便利な機能はすべてのユーザーにとって便利なものになりそう。また、見た目ではわからないが、「Tasman」という新しいレンダリングエンジンが採用された。これはHTML4.0、CSS1.0、XMLなどに対応した新開発の描画エンジンで、処理速度の高速化が図られている。ただ、実際にはIE4.5との体感速度の違いは感じなかった。これはおそらく表示よりもネットワーク速度がボトルネックになっている。

インターネットエクスプローラ5 のおもな新機能

- ・色もカスタマイズできるオシャレなツールバー
- ・狭い画面で便利なツールバーのおりたたみ機能
- ・入力中にURLのリストを表示してくれるオートコンプリート機能の改善
- ・ウェブページを保存できるインターネットスクラップブック
- ・自動的に関係のあるページを教えてくれる関連するリンク
- ・インターネットオークションを自動管理するオークションマネージャー
- ・ストリーミングを楽しめるメディアツールバー
- ・リンクの一覧表を取り込むことで、簡単にリンク先を見られるページホルダ
- ・キーボードショートカット、ドラッグ&ドロップ操作の改善
- ・新レンダリングエンジンTasman
- ・複数の検索サイトを次々と検索できる検索アシスタント

インターネットエクスプローラ5の注目新機能はこれだ!

スタイリッシュな見た目だけでなく、機能的にも優れたところが多いIE5 me。ここでは新機能の中で、特にオススメの機能をピックアップして一挙にお伝えしよう。

カスタマイズできるツールバー

iMac ユーザーにはフロップドライブやマウスの色にこだわっている人が多いが、IE5 me ではツールバーをiMac 色等に変えられるようになった。また、ボタン配置もドラッグ&ドロップで変更が可能。些細なことだが、iMac ユーザーにとって色やスタイルは重要。このあたりの心配りは嬉しい。



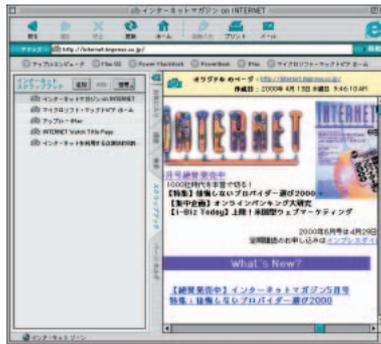
ツールバーを折りたたむ

「折りたたみボタン」をクリックすると、この画面のようにツールバーが隠れて全面にページを表示できる。800x600の画面でウェブページを見るiBook ユーザーにちょっとうれしい機能だ。



インターネットスクラップブック

いわゆる「ウェブページ録画ソフト」の機能を取り込んだのが、このインターネットスクラップブックだ。気になるページをワンアクションで保存しておけるので、印刷する手間も別のソフトを起動する必要もなく快適。見たいページをスクラップしておいて、オフラインでじっくり読むという使い方もオススメ。



関連するリンクを表示

Alexa 社が提供する関連情報データベースにアクセスして、見ているページに関係するページのリンクを表示する機能がこれ。日本の情報がまだ少ないらしく、これからといった感じの内容だが、データベースが充実してくれば面白い機能だ。



オークションマネージャ

インターネット上のオークションを管理できるのがこのオークションマネージャ。参加したオークションの状態を逐次監視して、新たな入札者が現れたら速攻で通知してくれるカシコイ機能だ。なお、使えるのはオークションマネージャに対応したサイトのみ。原稿執筆時点では@niftyの「コレセリ!」のみだが、ウィンドウズ版のIEでもこの機能がサポートされれば、普及しそうだ。



検索アシスタント

新しい検索ウィンドウでは、1つの検索サイトで探した後、「次へ」のボタンで別の検索サイトへ移動できる。また、以前の検索条件を憶えておいてくれるので、再入力の手間がグンと減った。



アドレスのオートコンプリート

URLを入力しているときに、履歴からマッチするページをプルダウン表示してくれるのがこの機能だ。プルダウンにはURLとそのタイトルが表示され、しかも半透明になっている。



Macintosh Edition インターネットエクスプローラ5が示したもの

オークションマネージャやインターネットスクラップブックなどを見ていると、インターネットエクスプローラは情報閲覧するツールを超えて、情報を蓄積し管理するツールへと変容を undergone しているように見える。たとえばオークションマネージャは、まったく同じような枠組みでたとえばオンライントレードや銀行の口座管理などにも応用できる技術である。今後はネットワークに分散する情報を一元的にブラウザし、管理するツールとしての役割がますます大きくなっていくに違いない。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp